

平成19年8月9日

各卓球部監督様

全国高体連卓球専門部審判部

試合において守っていただきたいこと

1 アドバイス

(1) 競技者がアドバイスを受けられるのは

- 1) ゲームとゲームの間の休憩時間(1分間)
- 2) タイムアウト
- 3) 認められた競技の中断時間(けが、出血、競技条件の乱れ等の事故)のみです。

1) 試合前の練習終了時とマッチ開始の間

- 2) 競技者が競技領域内でプレーをしている間

はいかなる場合でも、アドバイス(ゼスチャーを含む)は禁止です。

最初の違反には、イエローカードが出され警告を受ける。同じ試合内で2度目の違反がなされた場合には、その違反をした者にレッドカードが出され競技領域から遠ざけられる。

* 競技が終了したら速やかに退場すること。競技終了後のアドバイスやミーティングを競技領域内で行わないでください。

(2) 競技者にアドバイスができるのは

- 1) 団体戦においてはベンチにいる者
- 2) 個人戦においては試合前に主審に登録された1人のアドバイザーのみです。

2 抗議

(1) 抗議ができる者は

- 1) 個人戦の場合は該当試合の競技者
- 2) 団体戦の場合は該当試合の監督のみです。

(2) 主審、副審による事実の判定については抗議することはできない。抗議できるのは主審、副審のルール解釈についてのみです。

3 バッドマナー

(1) 競技者、監督、アドバイザーは相手競技者に対し不当な影響を及ぼしたり、観客に不快感を与えるような、行動を慎まなければならない。

その行為とは、大声で叫んだり、汚い言葉を使う、故意にボールを潰したり、ボールを競技領域外に出す。卓球台やフェンスを蹴ったり、競技役員の指示を無視する等である。

(2) 重大な不正行為やマナー違反の場合は、審判長に報告され審判長は違反者に対し試合、競技種目または全競技の出場資格を取り消す権限を有する。

(3) 重大でないバッドマナーが行われたときは、イエローカードが出され、さらに違反を行うと、ペナルティーが与えられる旨警告される。

(4) イエローカードを出された(警告)後同じ個人戦または団体戦において更にルール違反(バッドマナー)を行なうと。

- 1) 競技者の場合は
 - 1回目 相手に1ポイント
 - 2回目 相手に2ポイント
 - 3回目 競技を中止し、審判長に報告
- 2) 監督、アドバイザーの場合は
レッドカードが出され、個人戦の場合はその試合が終了するまで、団体戦の場合はその団体戦が終わるまで、競技領域から遠ざけられる。

4 休憩

- (1) 休憩はゲームとゲームの間に1分以内でとることができる。
(試合前の練習が終わった後と試合が開始する間にとることはできない。試合が始まる時にはアドバイスできない)
- (2) 競技中にタオルが使えるのは、ポイントの6本ごとと、ファイナルゲームのチェンジエンドの時です。(10オールでは、タオルの使用はできない)
- (3) 団体戦において連続して試合を行う(シングルスとダブルス)選手は、試合と試合の間に5分以内の休憩を取ることができる。

5 タイムアウト

- (1) タイムアウトは1マッチにおいて1回、ラリーとラリーの間に1分以内でとることができる。
- (2) タイムアウトを要求できるのは、競技者・監督・アドバイザーである。
タイムアウトの要求に対し競技者と監督・アドバイザーの意志が異なった場合は
 - 1) 個人戦の場合は、競技者の意志が優先される。
 - 2) 団体戦の場合は、監督の意志が優先される。
- (3) タイムアウトを要求していない競技者も、要求した競技者同様に休憩を取る事ができるが、要求した競技者がプレーに戻るときには、プレーに戻らなければならない。

6 サービス

- (1) ボールを握って隠さない。(ボールを乗せる手のひらを平らにする。)
- (2) ボールを投げ上げるときに、ボールが台より下がらない。
- (3) 台の中から投げ上げない、台の中で打球しない。
- (4) ボールを16cm以上投げ上げる(手のひらか離れた後)。
- (5) ボールが上昇中を打球しない。
- (6) ボールを斜めに投げ上げない。
- (7) ボールとネットを結ぶ空間に腕や体を入れない。

7 ユニフォーム

- (1) メーカーのロゴが大きく入ったユニフォームは、高体連の試合では着用することができません。
- (2) 対戦者と区別できないユニフォームでは試合ができません。必ず2種類以上のユニフォームを持つようにしてください。

以上、特に注意してほしい点をあげました。ご理解の上指導に当たられるようお願いいたします。また、大会におきましては服装及び言動等、模範となるようお願いいたします。